



電話用 NTP リファレンスの設定

電話機 Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) リファレンスを設定するには、次のトピックを参照してください。

- 「電話用 NTP リファレンスの設定値」(P.5-1)
- 「関連項目」(P.5-3)

電話用 NTP リファレンスの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[システム (System)] > [電話用 NTP(Phone NTP Reference)] メニューパスを使用して、電話用 NTP リファレンスを設定します。

必要な場合には、電話機の NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定すると、SIP を実行している電話機が日付と時刻を NTP サーバから取得するようになります。どの NTP サーバも応答しない場合、SIP を実行している電話機は、日付と時刻の REGISTER メッセージに対する 200 OK 応答の日付ヘッダーを使用します。

電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager の管理ページに追加したら、そのリファレンスを日時グループに追加する必要があります。日時グループでは、電話機でアクセスする最初のサーバから順に、電話用 NTP リファレン스에優先順位を設定することができます。

日時グループの設定はデバイス プール内で指定し、デバイス プールは電話機ページで指定します。

電話用 NTP リファレンスの設定のヒント

新しい電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加したら、そのリファレンスを日時グループに割り当てます。詳細については、「[日時グループの設定値](#)」(P.6-1) を参照してください。

電話用 NTP リファレンスの削除のヒント

電話用 NTP リファレンスを Cisco Unified Communications Manager の管理ページから削除するには、そのリファレンスを事前に日時グループから削除する必要があります。どの日時グループが電話用 NTP を使用しているかを調べるには、[電話用 NTP の設定 (Phone NTP Reference Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリスト ボックスで [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。電話用 NTP リファレンスを使用している日時グループがわかっている場合は、該当する電話用 NTP リファレンスをそのグループから削除します。

依存関係レコードがシステムで使用可能でない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示され、依存関係レコードを使用可能にするための操作が示されます。このメッセージには、依存関係レコード機能によって CPU に高い負荷がかかることも表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザー インターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

表 5-1 では、電話用 NTP リファレンスの設定値について説明します。関連する手順については、「[関連項目](#)」(P.5-3) を参照してください。

表 5-1 電話用 NTP リファレンスの設定値

フィールド	説明
[IP アドレス (IP Address)]	SIP を実行している電話機が日時の取得に使用する NTP サーバの IP アドレスを入力します。 (注) Cisco Unified Communications Manager は、電話用 NTP リファレンスとして設定できません。
[説明 (Description)]	電話用 NTP リファレンスの説明を入力します。Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは [IP アドレス (IP Address)] フィールドにある情報が [説明 (Description)] フィールドに自動的に入力されます。必要に応じて、この情報を変更することができます。

表 5-1 電話用 NTP リファレンスの設定値 (続き)

フィールド	説明
[モード (Mode)]	<p>ドロップダウンリスト ボックスから、電話用 NTP リファレンスのモードを選択します。選択できる値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ダイレクトブロードキャスト (Directed Broadcast)] : このデフォルト NTP モードを選択すると、電話機は任意の NTP サーバから日時情報を取得しますが、リストされている NTP サーバ (1st = プライマリ、2nd = セカンダリ) を優先的に使用します。たとえば、電話機の設定で A がプライマリ NTP サーバ、B がセカンダリ (バックアップ) NTP サーバになっている場合、電話機は NTP サーバ A からのブロードキャスト パケットを使用 (日時を取得) します。NTP サーバ A がブロードキャストを実行していない場合は、NTP サーバ B からの日時情報にアクセスします。どちらの NTP サーバもブロードキャストを実行していない場合は、他の任意の NTP サーバからの日時情報にアクセスします。他の NTP サーバもブロードキャストを実行していない場合、電話機は REGISTER メッセージに対する Cisco Unified Communications Manager 200 OK 応答から日時を取得します。 • [ユニキャスト (Unicast)] : このモードを選択した場合、電話機は特定の NTP サーバに NTP クエリー パケットを送信します。応答を受信できない場合、電話機は他の任意の NTP サーバからの日時情報にアクセスします。他の NTP サーバも応答しない場合、電話機は REGISTER メッセージに対する Cisco Unified Communications Manager 200 OK 応答から日時を取得します。 <p>(注) Cisco Unified Communications Manager は、現時点ではマルチキャスト モードおよびユニキャスト モードをサポートしていません。これらのモードを選択した場合、Cisco Unified Communications Manager ではデフォルトのダイレクトブロードキャスト モードに設定されます。</p>

追加情報

「関連項目」(P.5-3) を参照してください。

関連項目

- 「電話用 NTP リファレンスの設定」(P.5-1)
- 「電話用 NTP リファレンスの設定値」(P.5-1)
- 「日時グループの設定値」(P.6-1)

